

The Rite
of Spring

春の祭典

c/w Agnus Dei

アニユス・デイ

「春の祭典」「アニユス・デイ」
構成・演出・振付／大島早紀子
ダンス／H・アール・カオス

2002年8月18日(日)
宮崎県立芸術劇場 演劇ホール

開場=午後2時30分 開演=午後3時

S席:4,000円 A席:3,000円 *就学前のお子様の入場はご遠慮下さい。



●H・アール・カオス カンパニープロフィール
 H. ART CHAOS (えいち・あーる・かおす)
 ◆Hは、HEAVN「恍惚感」…ENGLISH
 ◆アールは、ART「芸術」…FRENCH
 ◆カオスは、「混沌」…GREEK
 あらかじめ位置づけられることを拒絶し、
 混沌の中から芸術の恍惚感を探求していく。



大島早紀子



白河直子

H・アール・カオスは、1989年、演出・振付家の大島早紀子とダンサー白河直子により設立。独特な美意識と哲学に支えられた創作活動は国内外で高い評価を受けている。近年の公演活動は、国内で「神々を創る機械」、「砂漠の内蔵」、「垂直の夢」などの新作を発表する傍ら、海外では「春の祭典」、「ロミオとジュリエット」、「秘密クラブ…浮遊する天使たち」などのレパートリーで、欧州・アジア各地での招聘公演を数多く行っている。97年の北米ツアーではトロント、モントリオール、ピッツバーグのそれぞれの都市で年間最優秀作品に選出され、2000年の北米ツアーでもNYタイムズが選ぶ同年のダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれている。舞踊批評家協会賞大賞、千年文化芸術祭優秀作品賞、第1回朝日舞台芸術賞など、国内外で受賞多数。

●「春の祭典」の海外公演批評

1997.11.19 トロン日刊紙 THE TORONTO STAR BY WILLAM LITTLER

「観客は飛び上がった！」(アンコールで)

ニジンスキーによって歴史的に高い論議をもって受け継がれる春の祭典は今日までマクミラン、モーリスベジャールという成功者をもたらし。そしてここにはっきりと力をもってYESといえる。大島の春の祭典は歴史に残る高尚なもの、目標をもたれる作品なのである。何というパフォーマンスなのだ。大島の「春の祭典」は視覚的な演出も含めてストラヴィンスキーの根本的な噴火した力強い作曲のエネルギーを、最も引き出しており、これ以上のものはないのではないかと。観客が飛び上がったのは意味がないわけではない。

1997.11.27 オタワ日刊紙 OTTAWA ARTNEWS紙 BY LINDA BOUTIN

「美しい祭典」

H・アール・カオスは短期間に世界の成功を勝ちとった。客席に足を運んだものは誰でもすぐにその理由がわかった。洗練された舞台様式と張りつめた大島早紀子の哲学が、最高の春の祭典を作り上げる。これほど素晴らしい春の祭典が過去にあったか。白河の驚異的なダンスは、ミラクルというしかないだろう。

2000.9.15 リンツ日刊紙 COURTESY OBEROSTERREICHISCHE NACHRICHTEN BY SILVIA KITZMANTEL

1913年のスキャンダル、2000年の勝利

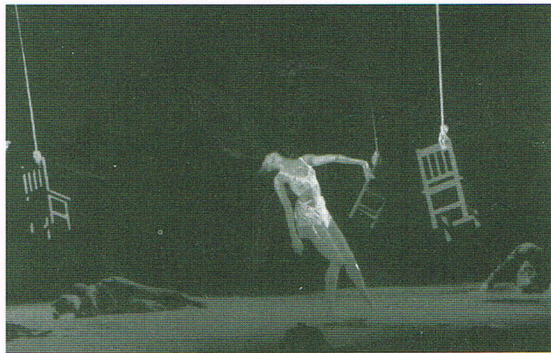
1913年パリで上演されたニジンスキーによる初演は、ひとつのスキャンダルだったが、2000年リンツで上演された大島早紀子による「春の祭典」。それは勝利そのものだった。日本の女性ばかりのダンスグループ H.ART CHAOSは、独特のしかも信じられない程作品の奥深くまで入り込んだ手法で「春の犠牲」である主人公に迫った。

2000.10.4 韓国日刊紙 東亜日報 オ・ミファン

私達は踊りとはいかに強力な身体言語であるかを実感せざるを得ない。大島早紀子は、柔らかさやユーモアを完全に削除することで鳥肌が立つほどの強烈な舞台を創り出したのである。

2001.6.5 シンガポール日刊紙 THE BUSINESS TIMES BY CHEAH UI-HOON

今年のアートフェスティバルのオープニングを飾ったH.ART CHAOSのダンスパフォーマンスは強烈なものであり、人間の身体は優美さを損なわずに何が出来るか、という私達の理解を広げてくれた。その印象は、明快であった。彼女達の動きは、技術的に力強く、舞台セットの芸術性は詩的である。しかし最も注目すべきことは、大島早紀子の強くてあからさまなテーマである。



撮影:inri

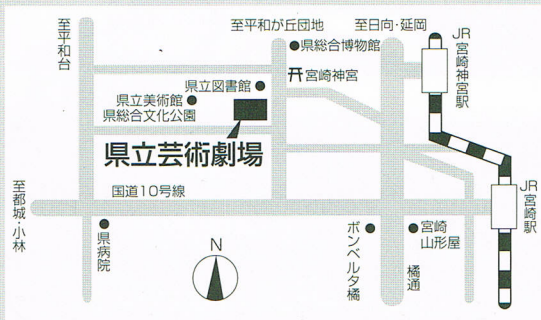
The Rite of Spring
 春の祭典

出演者:「春の祭典」 白河直子、菊池久美子、木戸紫乃、泉水利枝、関典子
 「アニュス・デイ」 白河直子
 照明:小笠原純 舞台監督:北村雅則 音響:関克郎 制作協力:有限会社東京アートファクトリー
 チケット取扱
 宮崎県立芸術劇場チケットセンター 0985-28-7766(月曜休館)
 ◎窓口営業:午前11時~午後7時 ◎電話受付:午前11時~午後6時
 西村各店 0985-29-2561/宮崎山形屋 0985-31-3201/宮交シティ 0985-51-1311/
 ボンベルタ橋 0985-24-4111/チケットぴあ 092-708-9999 Pコード930-926
 主催:お問い合わせ:財団法人 宮崎県立芸術劇場 0985-28-3210

■公演にお越しのお客様のための託児所を設置します。

- 1.対象児童
3ヶ月以上~小学校低学年まで
- 2.負担金
2,000円(2人目から1,000円を加算)
- 3.申し込み先
有限会社ビーンズ 0120-24-0016
(電話受付時間:月~金/9:00~18:00、土/9:00~15:00、日曜・祝日/休み)

※原則として公演の3日前までにお申し込みください。定員になり次第締め切ります。



■演奏会場案内地図・交通アクセス

●宮交シティ・橋通方面から

- 〈宮交バス〉
- ・「文化公園」行き 終点下車
 - ・「国富・綾」行き「文化公園前」下車
 - ・「平和が丘」行き「文化公園前」下車
 - ・「宮崎神宮」行き 終点下車徒歩3分
 - ・「平和台」行き「霧島三丁目」下車徒歩3分

●JR宮崎駅から

- 〈宮交バス〉
- ・「文化公園」行き終点下車/タクシー約10分

●JR宮崎神宮駅から

- ・タクシー約5分/徒歩約20分

公演当日は劇場周辺部の交通混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

◎インターネット上に芸術劇場のホームページを開設しました。

●アドレス
<http://www.miyazaki-ac.jp/>